

新しい抗インフルエンザ薬が発売されました！

新年明けましておめでとうございます。
毎年、年末にはインフルエンザの予防接種で待合室が混雑しますが、新年を迎えやっと落ち着いてきた感があります。これから寒くなりますと恒例のインフルエンザが流行し始めます。救急病院からの報告では、先々週あたりから徐々に患者が増えてきているようです。数か月前までは「A 香港型」が主流でしたが、現在全国的に小流行しているのは、昨年流行した「新型インフルエンザ (H1N1)」のようです。昨年かかった人が今度は大丈夫かどうか即答ができません。なぜならば新型でもまた型が変異している可能性があるからです。

さて、かかってしまったからの治療ですが、以前から使用している「タミフル」の経口薬と「リレンザ」の吸入薬があります。**いずれも1日2回使用(服用)で投与期間は5日間**となっています。

それに対して最近発売されました「ラピアクタ」は**15分かけての点滴静脈注射1回のみ**で治療が終わります。24時間後に平熱になる回復率は60%で、「タミフル」の50%より良い結果です。



また、その後「イナビル」という吸入薬が発売され、これはリレンザと同様に吸入薬ですがこれも**1回のみでOK**なのです。当然効果は実証済みで、両方とも小児にも適応があります。

現在「タミフル」は副作用の件で10歳代には使用できませんので「リレンザ」を使用していますが、今後は「イナビル」に変わっていくでしょう。



しかし、「イナビル」は自ら吸うことができない乳幼児には不適當ですので、点滴の「ラピアクタ」が選択されると思います。その時脱水でもあれば一石二鳥ですね。また、重症な患者さんにも確実に血中へ移行しますので、高い有効性が期待できると思います。

「ラピアクタ」も「イナビル」も1回の使用で治療が完結しますので、こんなに便利な薬剤はないと思います。今後はどの新薬もそうですが、発売前のデータと比較して実際に期待通りの効果があるのか、そして副作用の内容や発現頻度が報告されるものと思われま

(たまなは)